そよ風通信

２０２３年
５月号
Ｎｏ.３１３

（櫃田区 ）

「　君田の春　」

（ 君田フォトクラブ： 藤原 司徳 さん 撮影）

＜人口の動き＞　君田町人口：1,307 人（男性：636 人･女性：671 人）　世帯数：583 世帯【4 月 30 日現在】

編集・発行/君田自治区連合会　〒728-0401 三次市君田町東入君 644-8
Tel(0824)53-2759　Fax(0824)53-2779　E-mail:kimita-b@m-city.jp

支所だより

春の全国交通安全運動について

実施期間：令和５年５月１１日（木）～２０日（土）の１０日間

（交通事故ゼロを目指す日・・５月２０日（土））

【重点実施事項】

１．こどもを始めとする歩行者の安全の確保

２．横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上

３．自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

“飲酒運転の根絶”　飲んだら運転しない。させない。

※ ５月は「令和５年度　広島県自転車マナーアップ強化月間」です。

ヘルメットを着用し、自転車保険に加入しましょう。

農政課から　ため池の管理について

近年、大雨や地震による甚大な被害が発生しています。

特に、森林や家の付近にある「ため池」が決壊すると、流木や土石流が下流に流出し、住宅や田畑に被害が生じるだけでなく、生命が奪われることもあります。

ため池管理者の皆さんは、日頃から下記のことについて、組合員さんと連携してため池及びその周辺を点検しましょう。

１．堤防の法面に，亀裂や水がしみ出ているところがないか。

２．堤防の法面に，猪等による穴や段差がないか。

＜お問い合わせ先＞
三次市君田支所　電話：53-2111

こんにちは！君田診療所です！

桜の花が終わり、ハナミズキがさきほこると五月晴れの青い空に、鯉のぼりが高く泳ぎ，気持ちのよい季節になります。

そんな、天気のよい日は農作業の合間に散歩やウォーキング、ストレッチなどをして体全体を動かすよう心掛けましょう。

また、作業や運動の合間に適度な水分補給や休憩をとり、無理をしないようにしましょう。

＜診療時間＞
【月・火・金】
９：００～１２：００
１３：３０～１６：３０
【木】
９：００～１２：００
※ 午後は往診に回ります。

君田診療所　電話　５３－２０２０

櫃田区からのお便り

旧櫃田水泳プールの解体

櫃田寺西地区の学校からは少し離れた神野瀬川沿いに、低学年用の浅くて小さな、旧櫃田水泳プールが有りました。この４月、このプールが旧櫃田保育所に続き解体され、また一つ、二つと櫃田の歴史が消えていきました。

小高い小学校から正面の神野瀬川沿いにプールは見えますが、学校の水泳授業の時、校舎から少し離れた、このプールまで、子どもたちは坂道を上り下りし、歩いて通ったのでしょうか。夏休み期間中、子供たちは家庭から自転車や親の送迎、路線バスなどでプールを利用し、多くの子供たちの思い出を育み、保護者は交代でプールの監視役を務め、プールサイドで子供たちの成長と安全を見守るなど、保護者にとっても思い出のプールだったことでしょう。

一時代の役割を務めましたが４月に姿を消しました。プールさん、ありがとうございました。

プールができる前、その昔はと言うと、神野瀬川の淵や井堰に夏場、期間限定で、夏休みの子供たちの為の水遊び場が開設されたものです。保護者は県道から川まで草を刈り、通路を確保し、竹や萱で監視役の即席の待機小屋を造るなど子供のために奮闘してくれたものです。また、子供たちは親の熱意と櫃田の自然と、神野瀬の綺麗な水に夏休みを満喫していました。監視小屋にはかまぼこ板が変身した「命の札」が監視人と共に水遊びに夢中の子供たちを見守ったものでした。

こうした光景は櫃田の小字、集落ごとに一、二箇所、夏の神野瀬川に水しぶきと共に見られたものです。いつの頃でしょうか、子供の安全と神野瀬川の水質の不安から、水あびの光景は姿を消し、櫃田水泳プールが誕生したのでした。

今、子供たちの減少に伴いこの二つ水泳にまつわるひと昔前の光景、そして、この春の神野瀬キャンプ場の廃止、解体に続き、夏の憩いの場は姿を消しました。

畑仕事のこりがほぐれました

３月26日、茂田長寿会と茂田地区社協主催の、毎年恒例「世代間交流・健康教室」が、開催されました。

講師にお迎えしたフィットネスインストラクター 枝 美穂先生がまず、「皆さん、どこか痛い所はありますか、腰痛や肩こりはありますか」との問いかけに、即座に全員「はい」の返答。それには先生も大笑い。「それでは今日は、リハビリも兼ねた体操をしようと思います」と、さっそく、腰骨を立て、椅子に浅く座り、リズムをとって腿を叩いたり、胸を広げ深く息を吸う簡単な動作を続けて行いました。それだけで、皆さん、ポカポカと体の血流がよくなり、心拍数も上がってきた様子。もう少し高度に肘を回し、肩甲骨を動かす運動になると、どこからとなく「痛い・痛い」の声が漏れてきました。

始終、笑いが絶えない今回の健康教室も、茂田区ならではの温かさが感じられました。

これからは茂田区のあちこちの畑で、皆さん、仕事の合間に腿を持ち上げたりと、意識的に体を動かし、転倒防止に励まれることでしょう。

君田小学校　令和５年度スタート！

今年度は２名の新入生を迎え、児童４１名、教職員１４名での出発です。（兼務の教職員を含む）入学・進級し、子供達は新たな気持ちで色々なことに挑戦しようと目を輝かせています。

新型コロナウイルスによる行動制限も緩和され、日常の生活が戻りつつあります。これまでできなかったことができる喜びを味わいながら、みんなで成長ができる一年にしていきます。

地域の皆様、日頃より本校の教育に多大な応援をくださり、誠にありがとうございます。子供達のために、学校と家庭、地域がさらにつながり、ともに伸びていけますよう、今年度もよろしくお願いいたします。

令和５年度入学式から

「認知症サポーター」と「地域でできること」

３月 10 日（金）君田町地域ケア会議で認知症サポーター養成講座を受講しました。65 歳以上の５人に１人は認知症の予備軍または、認知症と言われています。君田町は、65 歳以上の人口が 600 人なので、他人ごとでなく自分や家族がなるかもしれない病気なのです。

認知症サポーター養成講座の目的は、認知症について正しい知識を持ち認知症の人やその家族を温かく見守る人を増やし、安心して暮らせるまちをみんなで一緒につくっていくことです。

講座の中で、「起こったこと自体は忘れても、優しくされてうれしかった、厳しくされて悲しかったという感情は残っている。」「認知症の症状は、病気の進行によって悪化するだけでなく、周囲の人の不適切な対応によって悪化する。」「認知症の人にはやさしく・ゆっくり・にっこりと対応することがポイントである。」など認知症についての知識と対応について学びました。

講義を受けて、次のような意見が出ました。

- 異変に気付く為にも、挨拶や声掛けはなど日頃から関係づくりが大切。
- 病気の早期発見や「差別・偏見」をなくすためには、住民のみんなが認知症について正しく知ることが、必要である。
- 認知症サポーター養成講座や認知症カフェを君田の地域でも広めていけたらいい。

君田の地域で、認知症になっても安心して暮らせるために、認知症についての知識を学んでみませんか。認知症サポーター養成講座は、地域の集まりやサロン等でも行うことが可能です。

問合せ先：地域包括支援センター　65-1146
君田支所　53-2111

町内ソフトボール大会を開催します
ご協力をお願い致します

日時：令和５年６月２５日（日）　午前８時～
場所：君田総合グラウンド
主催：三次市体育協会君田支部　　※雨天時は中止

君田図書館だより

2023年 5月号

開館時間：10時～18時
休館日：毎週月曜日/年末・年始
ホームページ：https://tosho.city.miyoshi.hiroshima.jp

三次市君田町東入君644-8
Tel/Fax：(0824)53-7050

新しい雑誌が入りました

『現代農業』農山漁村文化協会

「自然な暮らしを村に町に」をコンセプトにした農業・農村、食の今を伝える総合実用誌です。５月号の特集は「カバークロップ&生き草マルチ」です。

※最新号は、館内でご利用ください。
バックナンバーの貸出は出来ます。

三次市立図書館公式ホームページ リニューアル

縦長に表示されスマホからも見やすくなりました。変更に伴い、「アドレス登録方法」と「ネット予約方法」の説明書をカウンターにてお渡ししています。

新しく入った本

		書名	著者名	分類
一般書	実用書	税金で買った本　5巻	ずいの／原作，系山　冏／漫画	010ケ
		102歳、一人暮らし。	石井　哲代	289.1ヒ
		また、あちらで会いましょう	四宮　敏章	490.1シ
		がんが消えていく超減塩レシピ	済陽　高穂	494.5ワ
	文学	芦屋山手お道具迎賓館	高殿　円	913.6エ
		妖変未来記	東郷　隆	913.6ト
		ここが終の住処かもね	久田　恵	913.6ヒ
児童書	絵本	すいどう	百木　一朗／さく	Eモ
		フライパンヤァ	加藤　休ミ／作	Eカ
	知識	教科書にのってるどうぶつの赤ちゃん 全6巻	木坂　涼／文	480キ
		光るマウスが未来をかえる	森川　成美	467.2モ
	読み物	ララ姫はときどき☆こねこ 2巻	みお　ちづる	913.6ミ2
		ふしぎな図書館とやっかいな相棒	廣嶋　玲子	913.6ヒ
		金の国水の国	岩本　ナオ／原作・絵	913.6ト

2023本屋大賞

全国の書店員が最も売りたい本を選ぶ「2023年本屋大賞」が４月12日発表され、『汝、星のごとく』が大賞に選ばれました。他のノミネート作品ともに予約受付中です。

図書館カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日　〇ばんびのお話し広場

ばんびのお話し広場

日時：5月20日(土)
10：30～
場所：　君田支所２階
（状況により変更有
最新情報は君田自治連の
Instagramに掲載）

君田の風土と暮らしを、こよなく愛しいつくしんだ、故小豆原たまきさん(東入君)の著書「ふるさとの覚書第四集 君田の伝説と昔話」より、東入君区にゆかりのむかしばなし「村相撲」を紹介します。

「村相撲」

娯楽の少ないむかしは、力くらべや相撲が村人の間でさかんに行われていました。

力石(ちからいし)という古い時代の力くらべの石が東入君市場の胡子神社にあります。

また、自然石の大きな力士の記念碑も村のあちこちで目にとまります。これらの記念碑は、明治の終わりから大正にかけて建てられています。

戦争中の昭和十年代には、小学校のグラウンドや神社の境内にも土俵が作ってありました。双三郡内の小学校相撲大会というのも開催され、相撲は国技として大変さかんでした。

神社の境内で行なわれる相撲には、お祭りの余興に力自慢の村の若者や、近隣の町村の若者たちが集まって力を競う奉納相撲(ほうのうずもう)がありました。また神社やお寺の建立とか改築の資金を集めるために、素人相撲が行なわれることもありました。これを勧進相撲(かんじんずもう)と言います。

村では明治から大正にかけて素人相撲が大変さかんでした。それを物語るものに力士碑があります。次の六基が判明しています。

一、亀井山碑(梅木覚平)大正三年五月建之(西入君)
一、吉見山之碑(山本初太郎)大正三年十二月建之(泉吉田)
一、いろは山之碑(浅原関蔵)大正三年十二月建之(東入君)
一、浜の音（山脇浜吉）明治三十四年十二月建之(茂田)
一、谷の音(小桜友平)(東入君)
一、鶴ヶ島(東屋権平衛)(東入君)

古くから相撲が伝承されているのは、東入君大歳神社の春祭りです。かつては大人の相撲も同時に行なわれていましたが、今は子供相撲だけとなりました。

春満開の桜の下で見物人にも丸い力むすびが配られます。のどかな笑い声が山峡にこだまして、力一杯子供の元気な相撲が行われています。

へ ガイドブックきみた〉より

広島県北部には昔から相撲に強い者が多く、三次市にある有名な「稲生武太夫妖怪物語」に出てくる、三井権八という大関格の相撲取が、事情あって江戸追放になり三次に戻っていた。権八の故郷は布野村だった。

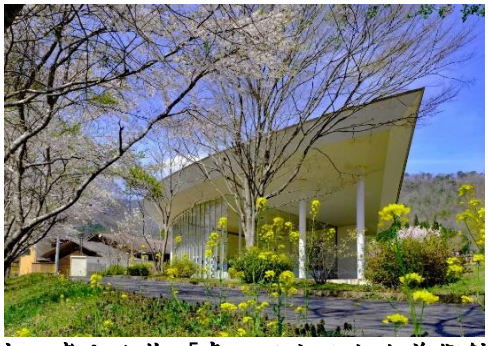
平太郎(武太夫の幼名)たち若者は夕方になると権八宅に集まり稽古に励んでいた。「指導者に恵まれて皆メキメキ上達した」と書いてある。君田村も近い所であり稽古に行った者もいると思う。

昭和20年代までは青少年や児童により相撲は盛んに行われていたが、現在伝承しているのは東入君大歳神社の春祭りと櫃田地区の子どもの日における子ども相撲だけとなった。

相撲の碑

君田のステキを後世に伝える写真コンテスト

君田の良さを再発見する、第30回あったかむらきみた写真コンテストの入賞作品20点が決まりました。


才田孝さん作「春のはらみちを美術館」

最優秀賞は、才田孝さん（君田町）の、野鳥の鳴き声が聞こえてきそうな、自然豊かな君田の春を感じさせる作品「春のはらみちを美術館」です。

入賞者は、町外の方が11名、町内の方は９名でした。君田自治区連合会８月展示で、全入賞作品が展示されます。お楽しみに！